

科目コーディネータ	医学研究科長				問合せ先	医学部教務課 大学院担当		
科目コーディネータ所属					連絡先	内線5512、5511、5510/idaigakuin@j.iwate-med.ac.jp		
講義場所	-							
区分等	区分	講義	回数	前期8回	単位	1	配当年次	1・2
担当教員	佐々木 真理 (医学研究科長) 齋野 朝幸 (細胞生物学分野 教授) 小笠原 正人 (歯学部 薬理学講座 病態制御学分野 教授) 遠藤 龍人 (看護学部 看護専門基礎講座 教授)				柿坂 啓介 (消化器内科分野 講師) 相澤 純 (医学教育学分野 特任講師) 若井 淳 (実験動物研究部門 講師) 図書館事務室			
教育成果 (アウトカム)	教育成果 世界水準の先進医療の導入に必要な能力を涵養するために、医療者に限らず、専門職業職者に求められる研究開発能力あるいは診療技能の相互理解と、異なった専門職業職間での協調作業に係る学際的基盤知識を身につけることにより、多様化・高度化する医療に対応し実践・研究・指導が可能となる。						該当するディプロマポリシー 1, 2, 3, 4, 5	
達成目標	達成目標				対象講義			
	(1) 研究における計画立案と実践ができる。				2,3,4			
	(2) 学会発表、論文作成に必要な基盤知識を理解し、実践できる。				2,3,4			
	(3) 指導者として、医学教育に必要な教育技術の基盤知識を説明できる。				1,5,6			
	(4) 動物実験の概要が説明できる。				7			
(5) 研究における倫理性について説明でき、実際に活用できる。				8				
資格取得等	特になし。							
成績評価方法	受講票により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。							
特記事項	<p>&lt;履修に関する情報&gt;</p> <p>各講義に対する事前学修の時間は最低30分を要し、内容は担当教員に確認すること。</p> <p>受講票の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。</p> <p>講義資料、課題提出に関しては、Web Classを活用する。</p> <p>受講後2週間以内に「受講票」を作成し、Web Classにアップロードすること。なお、講義を欠席した場合は、医学部教務課大学院担当まで連絡すること。</p>							
教科書・参考書								

月日	曜日	時限	内容/到達目標	担当教員	講義場所
5月28日	土	1	<b>(1) オリエンテーション：修士課程で学ぶべきこと</b> 1. 医学研究科・修士課程の3つのポリシーについて説明できる。 2. 自らの研究生活を開始するにあたり、指導や研究協力者とのコミュニケーションを適切に取る事ができる。	医学研究科長	Zoom
		2	<b>(2) 研究方法論-I (研究の計画立案から実践まで)</b> 研究の作業仮説を立てるにあたり、以下の点に関して説明できる。 1. 問題提起 2. 研究計画 3. 情報収集 4. 実態把握 5. データ処理、分析、発想 6. 仮説の設定 7. 推論・検討 8. 仮説の確定	小笠原 正人 教授 (病態制御学分野)	
6月4日	土	1	<b>(3) 研究方法論-II (研究のまとめから、学会・論文発表)</b> 研究を遂行するにあたって、以下の点に関して説明できる。 1. 実験ノート書き方 2. 分析 3. 発表 4. 論文の推敲 5. 論文の投稿	柿坂 啓介 講師 (消化器内科分野)	Zoom
		2	<b>(4) 文献検索方法 (図書館実習)</b> 研究を遂行するにあたって、文献検索の方略ならびに図書館の活用の仕方について説明し、実践できる。	図書館事務室	
6月25日	土	1	<b>(5) 考える医学教育</b> 学位取得の意味を考え、その取得後の生涯教育について、指導的立場から研究生活を継続して行くことの意義について述べ、実践することができる。	齋野 朝幸 教授 (細胞生物学分野)	Zoom
		3	<b>(6) 成人教育学の基礎と、教育技法</b> On job training の中で指導的立場で成人教育を行うために必要な、基礎知識・技法について説明できる。	相澤 純 特任講師 (医学教育学分野)	
7月2日	土	1	<b>(7) 実験動物学</b> 動物実験の概要が説明できる	若井 淳 講師 (実験動物研究部門)	Zoom
		3	<b>(8) 研究倫理/eL CoRE(研究倫理eラーニング)受講</b> 研究における倫理性について説明でき、実際に活用できる。	遠藤 龍人 教授 (看護専門基礎講座)	